

日本映像学会

第3回映像アーカイブ研究会

日本映像学会第3回映像アーカイブ研究会では、筑波大学教授であられる辻泰明氏をゲストにお招きし、2020年に出版された『映像アーカイブ論——記録と記憶が照射する未来——』について、また、NHK映像アーカイブの設立までの経緯やその後の状況に焦点を当てながら、テレビとアーカイブの関係についてお話しいただきながら、映像をアーカイブするとはどういった営みなのかを考えます。

日時：2022年7月22日 [金] 13:30-15:30

会場：オンライン（Zoom）

参加方法：右下 QR コードまたは <https://forms.gle/qPciYSjqJTWgBQDV9>

より、予約フォームにご登録ください。

問合せ先：wadamarciano.mitsuyo.6w [at] kyoto-u.ac.jp

（代表 ミツヨ・ワダ・マルシアーノ）

主催：日本映像学会映像アーカイブ研究会

共催：科研基盤研究(B) デジタル映像アーカイブの未来研究



レクチャー

日本におけるテレビ番組アーカイブの特性と今後の課題 辻泰明氏

筑波大学教授。博士（情報学）。日本放送協会において、ドラマ部、ナイトジャーナル部、スペシャル番組部、教育番組部などで番組制作に従事。その後、編成局にて視聴者層拡大プロジェクトおよびモバイルコンテンツ開発、オンデマンド業務室にてインターネット配信業務を担当。著書に『映像メディア論——映画からテレビへ、そして、インターネットへ』（2016）、『昭和期放送メディア論——女性向け教養番組における「花」の系譜』（2018）、『インターネット動画メディア論——映像コミュニケーション革命の現状分析』（2019）。



予約フォーム